

公益財団法人日本バレーボール協会 2017年度第5回理事会(臨時) 概要

1 日 時：2017年8月22日(火) 14:00～14:45

2 会 場：東京体育館 第4会議室

3 出席者：

理事総数 19名

出席理事 16名

会長代行(代表理事) 林孝彦

理事

志水雅一、嶋岡健治、鳥羽賢二、桐原勇人、鍛冶良則、
朝日健太郎、荒木田裕子、岡野貞彦、川合俊一、河本宏子、
坂本友理、須藤実和、田中祥子、原卓弘、丸山由美

監事総数 3名

出席監事 3名

工藤陽子、西川秀人、廣紀江

4 議 長：林孝彦

5 決議事項

- (1) 理事候補者の決定について
- (2) 臨時評議員会の開催及び目的事項について

6 議事の経過の要領及びその結果

会長代行が議長席に着き開会を宣し、本理事会は、定款第41条に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。

続いて議事録記名押印理事に原理事を選出し、議案の審議に入った。

(1) 理事候補者の決定について

理事候補者の決定について下記の通り説明が行われ、ワーキンググループから推薦された八田茂氏を理事候補者にする事について賛否を諮り、これを承認可決した。

<本日に至るまでの経緯の説明>

先ず林代表理事より、8月2日に開催された臨時評議員会における定款の改定についての

審議状況と決議結果についての報告があり、理事会から提案された定款の改定案からは、若干の内容修正が入ったが、評議員会の承認を得たことにより、「代表理事を2名置くことが出来る。また、専務理事を1名置き、代表理事とすることが出来る。」こととなった旨の説明があった。

続いて、ワーキンググループの進捗状況について、報告があった。

7月25日に開催された前回の理事会にて、嶋岡氏がJVAとVリーグ機構の会長を兼務することについてVリーグの理事会だけでなくVリーグの各チームからの承諾を得るべきとの意見が挙げられた。その後、嶋岡副会長からはVリーグのチームに連絡を取り、大半のチームから応援する旨の回答があったと報告を受けた。

また、8月2日の臨時評議員会での定款改定の決議を受けて、ワーキンググループ内で、専務理事候補者の人選を進めたところ、八田氏をワーキンググループ内で推すこととなった。

林代表理事からは、本日の理事推薦の提案については「役員候補者推薦規程」第4章雑則第6条（役員候補者推薦の特例）に基づき、評議員会に推薦するための理事候補者を提案することが伝えられた。

第4章 雑 則

（役員候補者推薦の特例）

第6条 役員に欠員あるとき、または定款に定める範囲内で若干名の役員を推薦する必要があるときも、本規程に則り役員候補者推薦を評議員会に提案する。ただし、理事会は、やむを得ない事情があるときに限り、本規程によらない方法で役員候補者推薦を評議員会に提案することができる。

<理事候補者の紹介>

以下の通り理事候補である八田茂氏について紹介があった。

■八田 茂 生年月日：1956年10月11日

現役職：株式会社ジャパンアスリートキャリアサポートセンター代表取締役

【推薦理由】

日本バレーボール協会の抱える最大の課題は、組織の建て直し・強化にある。

八田氏には、職務経歴書に記された経験と実績から、JVAの組織風土の改革や組織活性化に大きな貢献を期待できる。

特に、JOC キャリアアカデミーのディレクターやJリーグキャリアサポートセンター長として、各競技団体の多くのトップアスリートと信頼関係を構築されるとともに、各競技団体の事務局とのネットワークを深めてこられた経験と実績は、コミュニケーションの円滑化などを通じたJVAの組織活性化につながる。

また、このような経験と実績に基づき、加盟競技団体との円滑なコミュニケーション、日本体育協会・JOC・FIVB・AVCなどの外部団体やスポーツ庁・文科省・内閣府などの行政機関との連携や相互理解にも手腕を発揮して頂けることを期待する。

更に、リクルートや、新事業の開発推進と人材育成分野でのコンサルタントの経験と実績から、中期計画のPDCAサイクルの確実な実施、各年度事業計画への落とし込みと進捗管理、スタッフマネジメント、広報発信という分野での貢献を通じた組織風土の変革につながると考える。加えて、リクルート時代において磨かれた法人営業スキルは、JOCのアスナビでも遺憾なく発揮された。JVAにおいても、スポンサー企業など各種ステークホルダーの新たな組織化や活性化などを通じて新しい価値の創造にも踏み込んで頂きたい。

以上の観点から、組織を代表する会長を支え、組織固めを担う専務理事として、八田氏を推薦する。

(2) 臨時評議員会の開催及び目的事項について

臨時評議員会の開催及び目的事項について賛否を諮り、これを承認可決した。

臨時評議員会の目的事項等について

2017年度臨時評議員会を次の日時に開催するものとし、その目的事項（議題）として、以下の決議事項を提案いたします。

1. 日 時： 2017年8月29日（火）13：00～14：00
2. 場 所： 日本バレーボール協会 会議室
3. 決議事項： 理事選任の件（理事1名の追加選任について）

7 報告事項

(1) ビーチバレーボールの国際大会エントリーミスに関する内閣府への報告書について

ビーチバレーボール国際大会のエントリーミスに関する内閣府への報告書について説明があった。

7月25日開催の第4回理事会（臨時）の懲戒処分の議題の中で、ビーチバレーボール国際大会のエントリーミスに関する内閣府への報告をご審議いただいた。

理事会での審議内容を基に、内閣府からの質問、記載内容に関するコメント等を反映し、

最終の報告内容として、理事会に提示した上で協会の最高責任者（林 会長代行）から公益認定等委員会の委員長宛に報告することになった。

* 報告書についての詳細は、資料記載のとおり

(2) 各カテゴリー国際大会の試合結果速報・今後の予定について

鳥羽業務執行理事より各カテゴリー国際大会の試合結果速報・今後の予定について下記の通り説明があった。また、第19回アジア選手権大会で、全日本男子・女子チームともに優勝（34年ぶりのアベック優勝）の報告があった。

■ 現在出場中の大会

【男子】

- ・U-19(20 チーム) 第15回世界選手権大会 8/18～8/27 開催国：バーレーン
- ・U-23(12 チーム) 第3回世界選手権大会 8/18～8/25 開催国：エジプト
- ※テストルールにて開催（15点7セットマッチ/サーブはエンドラインを踏み越せない）
- ・ユニバ（22 チーム）第29回ユニバーシアード競技大会 8/20～8/29 開催国：台北

【女子】

- ・U-18(20 チーム) 第15回世界選手権大会 8/18～8/27 開催国：アルゼンチン
- ・ユニバ（16 チーム）第29回ユニバーシアード競技大会 8/21～8/28 開催国：台北

■ 今後出場予定の大会

【女子】

- ・U-23(12 チーム) 第3回世界選手権大会 9/10～9/17 開催国：スロベニア
- ・シニア（6 チーム）ワールドグランドチャンピオンズカップ
（東京）9/5～9/6、（名古屋）9/8～9/10 開催国：日本

【男子】

- ・シニア（6 チーム）ワールドグランドチャンピオンズカップ
（名古屋）9/12～9/13、（大阪）9/15～9/17 開催国：日本

以上をもって、議事の全ての審議を終了した為、議長は14時45分に閉会を宣した。